

文部科学大臣 様

## 実験・実習教育の充実と「実習助手」制度改革を求める署名

子どもたちにとって必要な基礎学力や科学的認識、技術や技能を身につけることは大変重要であり、実験・実習教育の充実には科学的な物質観、思考力、判断力、表現力を養う上で必要不可欠な教育だと考えています。充実した実験・実習教育をおこなうためには十分な人的配置と予算確保が必要です。

しかし今、実験・実習教育に必要な施設・設備をはじめ、実験装置や器具などの整備や更新のための教育予算確保がされず、十分な実験・実習教育が保障されていない状況です。また、実習教員の新規採用が減らされているため、実験・実習授業の経験や技術の蓄積・継承に困難をきたしている現状もあります。

また、私たち実習教員は、教諭と協力して実験・実習にあたっていますが、現行制度においては校務での補助的業務に位置づけられ教育活動に様々な制約があります。文部科学省は「実習助手は必要な職種」と回答していますが、そう認識するのであれば現行制度の矛盾を改善するべきです。

私たちは、どの子にも充実した実験・実習教育をおこなうため以上の観点に立ち、下記事項の実現を要求します。

### 記

- 一、実験・実習教育充実のため、高等学校設置基準の「実習助手・・・・・・を必要に応じて置くものとする」規定を「置かなければならない」に戻すこと。
- 一、実験・実習が少人数（1グループ数名）でおこなえるように「実習助手」も含めて教員全体の「標準法」を改善すること。
- 一、「実習助手」の職名及び「教諭の職務を助ける」という規定を実態に即して改善すること。
- 一、実験・実習のための施設・設備を整備すること。
- 一、免許法認定講習等により高等学校一種免許状を取得した「実習助手」の「教諭」任用を促進するよう各都道府県教育委員会に促すこと。
- 一、「実習助手」制度を廃止し、教諭一元化すること。そのため、学校教育法、教職員定数法など関連諸法規の改正をおこなうこと。

住 所

団体名

分会

代表者氏名

印

2020年1月31日締切

取り扱い団体 **全日本教職員組合・教組共闘連絡会・全国高校組織懇談会**  
 ( 山口県高等学校教員組合 )